

▼「花」3年 p.4 教材の評価規準と学習の流れの例

学習目標

情景を思い浮かべながら，言葉を大切に歌おう。

学習指導要領との関連

A 表現（1）歌唱ア

主な学習の窓口〔共通事項〕

旋律，強弱

評価規準

- 関 ①歌詞の内容や曲想に関心を持ち，曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
- 創 ①音のつながり方，フレーズ，速度，強弱を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
- 技 ①歌詞の内容や曲想を生かした，曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声，言葉の発音，呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。

(関…音楽への関心・意欲・態度　創…音楽表現の創意工夫　技…音楽表現の技能)

学習の流れ (花)

●学習内容	○学習活動 ◆評価規準【評価方法】
●歌詞の内容や曲想に関心をもつ。	<p>○範唱を聴き，主旋律をとらえる。</p> <p>○歌詞を音読するなどして内容を理解し，情景を想像する。</p> <p>○担当するパートを決め，二部合唱ができるようにパート練習する。</p> <p>○歌詞の表す内容と強弱とのかかわりを意識しながら，通して二部合唱をする。</p> <p>◆関：歌詞の内容や曲想に関心をもっている。【観察】</p>
<p>●音のつながり方，フレーズ，速度，強弱を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもつ。</p> <p>●歌詞の内容や曲想に関心を持ち，曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組む。</p> <p>●歌詞の内容や曲想を生かした，曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声，言葉の発音，呼吸法などの技能を身に付けて歌う。</p>	<p>○2，3番について，1番と旋律やリズムの違うところを確認し，音符や休符の効果などを感じ取りながら歌う。</p> <p>○3番の歌詞で，作詞者の感動が書かれているところと旋律との関係を考え，どのように表現すると作詞者の思いや意図を伝えられるのかについて意見交流する。</p> <p>○意見交流した内容を歌いながら確認して，さらに表現を工夫する。</p> <p>○3番の最後の“ながめを何にたとうべき”の歌詞の内容と速度設定に着目し，表現を工夫する。</p> <p>○旋律のまとまりや反復，言葉と音楽との関係，歌詞の内容に応じた強弱の設定などを理解して，楽曲の形式をとらえながら，まとめの二部合唱をする。</p> <p>◆創①【観察】</p> <p>◆関①【観察】</p> <p>◆技①【演奏】</p>

▼「風の中の青春」3年 p.10
教材の評価規準と学習の流れの例

学習目標

パートの役割や旋律の音の動きを理解して合唱しよう。

学習指導要領との関連

A 表現（1）歌唱ウ

主な学習の窓口〔共通事項〕

旋律，テクスチュア，強弱

評価規準

- 関 ①声部の役割と全体の響きとのかかわりに関心をもち，音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
- 創 ①旋律の音の動き，フレーズ，旋律の重なり方，強弱を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して音楽表現を工夫し，どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。
- 技 ①声部の役割と全体の響きとのかかわりを生かした音楽表現をするために必要な発声，言葉の発音，呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。

(関…音楽への関心・意欲・態度　創…音楽表現の創意工夫　技…音楽表現の技能)

学習の流れ (風の中の青春)

●学習内容	○学習活動 ◆評価規準【評価方法】
<p>●声部の役割と全体の響きとのかかわりに関心をもつ。</p>	<p>○旋律の動きや楽曲の構成に注目しながら範唱を聴き、全体像をとらえる。</p> <p>○担当するパートを練習する。</p> <p>○主旋律を歌うパートを確認し、主旋律を大切にしながら、曲全体を通して合わせて歌う。</p> <p>◆関：声部の役割と全体の響きとのかかわりに関心をもっている。</p> <p>【観察】</p>
<p>●旋律の音の動き、フレーズ、旋律の重なり方、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもつ。</p> <p>●声部の役割と全体の響きとのかかわりに関心を持ち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組む。</p> <p>●声部の役割と全体の響きとのかかわりを生かした音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌う。</p>	<p>○主旋律だけを歌ったり、主旋律以外の旋律だけを歌ったりして、声部の役割を考える。</p> <p>○担当するパートをどのように歌ったらよいかを、主旋律との関係から考え、ワークシート（教科書p.11）に記入して発表する。</p> <p>○各段の主旋律の始まり部分の強弱をワークシートに書き込み、旋律の音の動きや歌詞の内容とのかかわらせながら、どのように歌ったらよいかを意見交流し、表現を工夫する。</p> <p>○主旋律とそれ以外の旋律について、声部の役割を生かした強弱のバランスを工夫する。</p> <p>○工夫した内容を楽譜に記入する。</p> <p>○理解した主旋律とそれ以外の旋律の重なり方、楽譜から読み取った音の動きと強弱、各フレーズのかかわりを生かして表現を工夫したことを確認しながら、まとめの合唱をする。</p> <p>◆創①【観察、ワークシート】</p> <p>◆関①【観察、ワークシート】</p> <p>◆技①【演奏】</p>

▼「花の街」3年 p.12
教材の評価規準と学習の流れの例

学習目標

詩や曲の背景を理解し，そこにこめられた思いを生かして歌おう。

学習指導要領との関連

A 表現（1）歌唱ア

主な学習の窓口〔共通事項〕

旋律，強弱

評価規準

- 関 ①歌詞の内容や曲想に関心をもち，曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
- 創 ①旋律，強弱を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
- 技 ①歌詞の内容や曲想を生かした，曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声，言葉の発音，呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。

(関…音楽への関心・意欲・態度　創…音楽表現の創意工夫　技…音楽表現の技能)

学習の流れ（花の街）

●学習内容	○学習活動 ◆評価規準【評価方法】
<p>●歌詞の内容や曲想に関心をもち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組む。</p> <p>●旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。</p> <p>●歌詞の内容や曲想を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌う。</p>	<p>○美しい日本の「心の歌」として曲想を感じ取りながら聴く。</p> <p>○詩や「作詞者の言葉」「作曲者の言葉」を基に、当時の時代背景を理解する。</p> <p>○歌詞唱する。</p> <p>○弱起による歌い出しや、フレーズごとの音の動きの違いに気付き、それらを意識して歌う。</p> <p>○旋律の音の動きの特徴、言葉のまとまり、強弱などの関係について気付いたことをワークシートにまとめて発表し、話し合う。</p> <p>○話し合ったことを基に、曲にふさわしい音楽表現となるように、発声、言葉の発音、呼吸法などの歌い方をいろいろと試す。</p> <p>○発声、言葉の発音、呼吸法などの歌い方を試して気付いたことを意見交流する。</p> <p>○学習内容を振り返り、これまでの学習を生かして歌う。</p> <p>◆関①【観察、演奏】</p> <p>◆創①【観察、ワークシート】</p> <p>◆技①【演奏】</p>

▼「帰れソレントへ」3年 p.16 教材の評価規準と学習の流れの例

学習目標

曲想を生かして表情豊かに歌おう。

学習指導要領との関連

A 表現（1）歌唱ア

主な学習の窓口〔共通事項〕

速度，旋律，強弱

評価規準

- 関 ①歌詞の内容や曲想に関心をもち，曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
- 創 ①速度，旋律，強弱を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
- 技 ①歌詞の内容や曲想を生かした，曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声，言葉の発音，呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。

(関…音楽への関心・意欲・態度　創…音楽表現の創意工夫　技…音楽表現の技能)

学習の流れ (帰れソレントへ)

●学習内容	○学習活動 ◆評価規準【評価方法】
<p>●歌詞の内容や曲想に関心をもち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組む。</p> <p>●速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。</p> <p>●歌詞の内容や曲想を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌う。</p>	<p>○日本語の範唱を聴き、リズムや音の高さに気を付けて歌う。</p> <p>○原語による範唱を聴き、調や速度の変化を生かしながら表情豊かに歌われていることに気付く。</p> <p>○楽譜に表示されている速度用語の意味を理解し、表現の工夫につなげる。</p> <p>○教科書 p.17「同じ音を主音とする長調と短調」を参考にしながら、調の変化や先行する伴奏の和声進行に注目して曲想の変化を理解する。</p> <p>○曲にふさわしい音楽表現となるように、発声、言葉の発音、呼吸法などの歌い方をいろいろと試す。</p> <p>○発声、言葉の発音、呼吸法などの歌い方を試して気付いたことを意見交流する。</p> <p>○学習内容を振り返り、これまでの学習を生かして歌う。</p> <p>◆関①【観察】</p> <p>◆創①【観察】</p> <p>◆技①【演奏】</p>

▼「Yesterday」3年 p.18 教材の評価規準と学習の流れの例

学習目標

英語の語感と曲の雰囲気を生かして歌おう。

学習指導要領との関連

A 表現（1）歌唱ア，イ

主な学習の窓口〔共通事項〕

音色，リズム，旋律

評価規準

- 関 ①歌詞の内容や曲想，曲種に応じた発声や言葉の特性に関心を持ち，それらを生かし曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
- 創 ①ポピュラー音楽の声の音色，英語の語感を生かしたリズムや旋律を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，歌詞の内容や曲想を味わう，曲種に応じた発声や言葉の特性を理解するなどして曲にふさわしい音楽表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
- 技 ①歌詞の内容や曲想，曲種に応じた発声や言葉の特性を生かした，曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声，言葉の発音，呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。

(関--音楽への関心・意欲・態度 創--音楽表現の創意工夫 技--音楽表現の技能)

学習の流れ (Yesterday)

●学習内容	○学習活動 ◆評価規準【評価方法】
<p>●歌詞の内容や曲想，曲種に応じた発声や言葉の特性に関心をもつ。</p>	<p>○楽譜や歌詞を見ずに原曲を聴き，発声について気付いたことや，歌詞の内容についてイメージしたこととその理由をワークシートにまとめる。</p> <p>○クラス全体で意見交流したあと，音楽のジャンルや歌詞の大意を知る。</p> <p>○楽譜や歌詞を見ながら原曲を聴き，曲の雰囲気味わうとともに，歌詞の発音を確認する。</p> <p>○発音に注意しながら歌詞を音読し，旋律の音取りをする。</p> <p>○ペアやグループで練習したあと，クラス全体で合わせて歌う。</p> <p>◆関：歌詞の内容や曲想，曲種に応じた発声や言葉の特性に関心をもっている。【観察】</p>
<p>●歌詞の内容や曲想，曲種に応じた発声や言葉の特性に関心もち，それらを生かし曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組む。</p> <p>●ポピュラー音楽の声の音色，英語の語感を生かしたリズムや旋律を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，歌詞の内容や曲想を味わう，曲種に応じた発声や言葉の特性を理解するなどして曲にふさわしい音楽表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもつ。</p>	<p>○自分たちの歌を録音して原曲と聴き比べ，違いや感じたことをグループやクラス全体で意見交流する。</p> <p>○歌詞の内容や曲想，声の音色，英語の語感を生かしたリズムや旋律に注意しながら，ペアやグループで原曲の最初のフレーズをまねて歌い，意識したことや分かったことをワークシートにまとめる。</p> <p>○ポピュラー音楽の声の音色や英語の語感を意識して，歌詞の内容や曲の雰囲気に合った歌い方にするために工夫するポイントをワークシートにまとめる。</p> <p>◆関①【観察，ワークシート】</p> <p>◆創①【ワークシート】</p>
<p>●歌詞の内容や曲想，曲種に応じた発声や言葉の特性を生かした，曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声，言葉の発音，呼吸法などの技能を身に付けて歌う。</p>	<p>○これまでの学習を振り返り，声の音色，英語の語感を生かしたリズムや旋律を意識しながら発声，言葉の発音，呼吸法などの歌い方を試す。</p> <p>○自分なりに表現を工夫して歌う。</p> <p>○グループごとに発表し，評価し合う。</p> <p>○英語の語感と曲の雰囲気を生かして，クラス全体で歌う。</p> <p>◆技①【演奏】</p>

▼「きみとともに」3年 p. 20
教材の評価規準と学習の流れの例

学習目標

歌詞と旋律の関わりに注目し，表現を工夫して歌おう。

学習指導要領との関連

A 表現（1）歌唱ア

主な学習の窓口〔共通事項〕

旋律，強弱

評価規準

- 関 ①歌詞の内容や曲想に関心をもち，曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
- 創 ①言葉のまとまりと旋律の音の動き，強弱を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
- 技 ①歌詞の内容や曲想を生かした，曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声，言葉の発音，呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。

(関…音楽への関心・意欲・態度　創…音楽表現の創意工夫　技…音楽表現の技能)

学習の流れ (きみとともに)

●学習内容	○学習活動 ◆評価規準【評価方法】
●歌詞の内容や曲想に関心をもつ。	<p>○範唱を聴いたあと、各パートに分かれて音を確認する。</p> <p>○ハーモニーを確認しながらクラス全体で合わせて歌う。</p> <p>○歌詞を朗読したあと、各自、未来に対する希望や不安をワークシートに書き、グループで意見交流する。</p> <p>○歌詞が表す心情と自分の心情とを重ね合わせながら、クラス全体で合わせて歌う。</p> <p>◆関：歌詞の内容や曲想に関心をもっている。【観察，ワークシート】</p>
●言葉のまとまりと旋律の音の動き、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	<p>○日本語の抑揚と旋律の音の動きとを照らし合わせたり、言葉のまとまりを意識したりしながら、全員で主旋律を歌う。</p> <p>○楽譜に示された強弱記号から、作曲者の思いや意図についてイメージしたことをワークシートに記入し、グループで意見交流する。</p> <p>○“未来へと”の部分に着目し、デクレシェンドを付けた場合と付けない場合とをクラス全員で歌い比べ、その効果を確認する。</p> <p>○どのように歌うかについて、意識するポイントをワークシートにまとめる。</p> <p>◆創①【ワークシート】</p>
<p>●歌詞の内容や曲想に関心を持ち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組む。</p> <p>●歌詞の内容や曲想を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌う。</p>	<p>○伴奏を聴き、和音や音型の変化によって雰囲気がどのように変化するかについて感じ取ったことを意見交流する。</p> <p>○歌詞が表す心情や曲想を生かした音楽表現となるよう、グループやパートで、発声や言葉のまとまりを意識した歌い方をいろいろと試す。</p> <p>○言葉のまとまりと旋律の音の動きを意識しながら、強弱を生かしてクラス全体で合わせて歌う。</p> <p>◆関①【観察】</p> <p>◆技①【演奏】</p>

▼「早春賦」3年 p.22
教材の評価規準と学習の流れの例

学習目標

情景を思い浮かべながら，表情豊かに歌おう。

学習指導要領との関連

A 表現（1）歌唱ア

主な学習の窓口〔共通事項〕

リズム，強弱

評価規準

- 関 ①歌詞の内容や曲想に関心をもち，曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
- 創 ①8分の6拍子，強弱を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を受しながら，歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
- 技 ①歌詞の内容や曲想を生かした，曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声，言葉の発音，呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。

(関…音楽への関心・意欲・態度　創…音楽表現の創意工夫　技…音楽表現の技能)

学習の流れ（早春賦）

●学習内容	○学習活動 ◆評価規準【評価方法】
●歌詞の内容や曲想に関心をもつ。	<p>○範唱を聴いて、気付いたことや感じたことをワークシートに記入し、発表する。</p> <p>○歌詞を朗読し、歌詞の表す情景と心情について自由に話し合う。</p> <p>○言葉の発音に気を付けて、曲全体を歌う。</p> <p>○作詞者や作曲者について知る。</p> <p>○歌詞の表す情景と心情を意識しながら、曲全体を歌う。</p> <p>◆関：歌詞の内容や曲想に関心をもっている。【観察，ワークシート】</p>
●8分の6拍子，強弱を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	<p>○曲全体を歌ったり聴いたりしながら，拍子，強弱，旋律の特徴を感じ取る。</p> <p>○旋律の特徴や拍の流れ，フレーズを感じ取り，それぞれの部分になぜその強弱記号が付いているのかを考え，意見を発表する。</p> <p>○強弱の変化がどのような効果を生み出しているのかを感じ取り，歌いながら曲にふさわしい音楽表現を工夫する。</p> <p>○どのように歌うかについての自分の考えや，特に表現を工夫するポイントとその理由をワークシートに記入する。</p> <p>◆創①【ワークシート】</p>
<p>●歌詞の内容や曲想に関心を持ち，曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組む。</p> <p>●歌詞の内容や曲想を生かした，曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声，言葉の発音，呼吸法などの技能を身に付けて歌う。</p>	<p>○曲にふさわしい音楽表現となるように，クラス全体やグループや個人で発声，言葉の発音，呼吸法などの歌い方をいろいろと試す。</p> <p>○クラス全体やグループで意見交流したことを踏まえながら，自分の思いや意図を生かして音楽表現できるようにする。</p> <p>○これまでの学習を生かして，グループあるいは1人で歌う。</p> <p>○ワークシートを見ながら学習内容を振り返る。</p> <p>○学習内容を意識してクラス全体で歌う。</p> <p>◆関①【観察，ワークシート】</p> <p>◆技①【演奏】</p>

▼「フィンランディア」3年 p. 25 教材の評価規準と学習の流れの例

学習目標

ア カペラによる響きの美しさを味わいながら合唱しよう。

学習指導要領との関連

A 表現（1）歌唱ア，ウ

主な学習の窓口〔共通事項〕

音色，テクスチュア

評価規準

- 関 ①歌詞の内容や曲想，声部の役割と全体の響きとのかかわりに関心をもち，曲にふさわしい音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
- 創 ①声の音色，テクスチュアを知覚・感受しながら，歌詞の内容や曲想を味わう，声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解するなどして曲にふさわしい音楽表現を工夫し，どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。
- 技 ①創意工夫を生かした曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声，言葉の発音，呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。

(関…音楽への関心・意欲・態度　創…音楽表現の創意工夫　技…音楽表現の技能)

学習の流れ (フィンランディア)

●学習内容	○学習活動 ◆評価規準【評価方法】
<p>●歌詞の内容や曲想，声部の役割と全体の響きとのかかわりに関心をもち，曲にふさわしい音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組む。</p>	<p>○範唱を聴き，ア カペラの混声四部合唱について気付いたことや感じたことをワークシートに記入し，発表する。</p> <p>○歌詞を朗読し，歌詞の内容について理解する。</p> <p>○パートごとに分かれて，音を確認する。</p> <p>○女声どうし，男声どうしの2声で音の高さや音程に気を付けて合唱する。</p> <p>○歌詞の内容を意識して，曲想を生かして混声四部合唱で歌う。</p> <p>◆関①【観察，ワークシート】</p>
<p>●声の音色，テクスチャを知覚・感受する。</p> <p>●知覚・感受しながら，歌詞の内容や曲想を味わう，声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解するなどして曲にふさわしい音楽表現を工夫する。</p> <p>●どのように歌うかについて思いや意図をもつ。</p>	<p>○曲全体を歌ったり聴いたりしながら，声の音色，テクスチャの特徴を感じ取り，ワークシートに記入する。</p> <p>○グループごとに実際に歌いながら，正しい音の高さで歌うことの重要性や，互いの声を聴き合い，声の音色を合わせて歌うことの重要性を理解する。</p> <p>○各パートを1つずつ重ねてみたり，いずれかのパートを除いて歌ったりしながら，声部の役割と全体の響きを理解し，曲にふさわしい音楽表現を工夫する。</p> <p>○どのように歌うかについて，グループごとに意見交流し，音楽表現を工夫するポイントとその理由をワークシートに記入する。</p> <p>◆創①【観察，ワークシート】</p>
<p>●創意工夫を生かした曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声，言葉の発音，呼吸法などの技能を身に付けて歌う。</p>	<p>○曲にふさわしい音楽表現となるように，クラス全体やグループや個人で発声，言葉の発音，呼吸法などの歌い方をいろいろと試す。</p> <p>○クラス全体やグループで意見交流したことを踏まえながら，自分の思いや意図を生かして音楽表現できるようにする。</p> <p>○これまでの学習を生かして，グループで歌う。</p> <p>○ワークシートを見ながら学習内容を振り返る。</p> <p>○学習内容を意識してクラス全体で歌う。</p> <p>◆技①【演奏】</p>

▼「My Melody」3年 p. 26
教材の評価規準と学習の流れの例

学習目標

歌詞の抑揚を生かして旋律をつくろう。

学習指導要領との関連

A 表現（3）創作ア

主な学習の窓口〔共通事項〕

リズム，旋律

評価規準

- 関 ①言葉の抑揚や音階の特徴に関心をもち，それらを生かし音楽表現を工夫して旋律をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。
- 創 ①リズムや旋律を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，言葉の抑揚や音階の特徴を生かした音楽表現を工夫し，どのように旋律をつくるかについて思いや意図をもっている。
- 技 ①言葉の抑揚や音階の特徴を生かした音楽表現をするために必要な課題に沿った音の組合せ方，記譜の仕方などの技能を身に付けて旋律をつくっている。

(関…音楽への関心・意欲・態度　　創…音楽表現の創意工夫　　技…音楽表現の技能)

学習の流れ (My Melody)

●学習内容	○学習活動 ◆評価規準【評価方法】
<p>●言葉の抑揚や音階の特徴に関心をもつ。</p> <p>●リズムや旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、言葉の抑揚や音階の特徴を生かした音楽表現を工夫し、どのように旋律をつくるかについて思いや意図をもつ。</p> <p>●言葉の抑揚や音階の特徴に関心をもち、それらを生かし音楽表現を工夫して旋律をつくる学習に主体的に取り組む。</p> <p>●言葉の抑揚や音階の特徴を生かした音楽表現をするために必要な課題に沿った音の組合せ方、記譜の仕方などの技能を身に付けて旋律をつくる。</p>	<p>○何を紹介するのかを決めて、8拍に収まるよう字数を工夫しながら歌詞を考える。</p> <p>○ワークシートにリズムといっしょに書き入れる。</p> <p>○つくった歌詞の抑揚を調べ、ワークシートに書き入れる。</p> <p>○歌詞の抑揚を生かしてハ長調の旋律をつくり、ワークシートに階名を書き入れる。</p> <p>○歌詞の抑揚だけでなく、旋律全体の動きがどうなっているかも意識する。</p> <p>○つくった旋律を歌って、歌詞の抑揚が生かされているか、自分がイメージした音の動きになっているかを確認していろいろと試す。</p> <p>○気に入った旋律ができたらワークシートの五線に音符を書き入れる。</p> <p>○歌詞の内容が伝わるように速度や強弱などを工夫する。</p> <p>○工夫したところを伝えてからつくった歌を発表し、工夫した点がどのような効果を上げていたか意見交流する。</p> <p>○互いのよいところを認め、自分の作品と比較して、自分の作品を修正、補作する。</p> <p>◆創①【観察, ワークシート】</p> <p>◆関①【観察, ワークシート】</p> <p>◆技①【観察, ワークシート】</p>

▼「Let's Create!」3年 p.28
教材の評価規準と学習の流れの例

学習目標

構成を生かしてリズムアンサンブルをつくろう。

学習指導要領との関連

A 表現（3）創作イ

主な学習の窓口〔共通事項〕

音色，リズム，速度，テクスチャ，強弱，形式・構成

評価規準

- 関 ①音素材の特徴，反復，変化，対照などの構成や全体のまとまりに関心を持ち，それらを生かし音楽表現を工夫しながら音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。
- 創 ①音色，リズム，速度，パートの組合せ方，強弱，構成を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，音楽で表現したいイメージをもち，音素材の特徴を生かし，反復，変化，対照などの構成や全体のまとまりを工夫し，どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。
- 技 ①音素材の特徴，反復，変化，対照などの構成や全体のまとまりを生かした音楽表現をするために必要な課題に沿った音の組合せ方，記譜の仕方などの技能を身に付けて音楽をつくっている。

（関--音楽への関心・意欲・態度 創--音楽表現の創意工夫 技--音楽表現の技能）

学習の流れ (Let's Create!)

●学習内容	○学習活動 ◆評価規準【評価方法】
<p>●音素材の特徴, 反復, 変化, 対照などの構成や全体のまとまりに関心をもち, それらを生かし音楽表現を工夫しながら音楽をつくる学習に主体的に取り組む。</p>	<p>○楽器や身の回りのもの, 手拍子などで8拍のリズムを即興的につくり, ペアになってコール&レスポンスをしたり, 全体でリレー奏をしたりする。</p> <p>○3～4人のグループに分かれ, 音色に着目して自分が受け持つ音を選び, 4分の4拍子で2小節のリズムをつくり, ワークシートに記入する。</p> <p>○つくったリズムをグループ内で発表し合い, 教科書p.28「組み合わせ方の例」を参考にして, パートの組合せ方をいろいろと試す。</p> <p>◆関①【観察, ワークシート】</p>
<p>●音色, リズム, 速度, パートの組合せ方, 強弱, 構成を知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら, 音楽で表現したいイメージをもち, 音素材の特徴を生かし, 反復, 変化, 対照などの構成や全体のまとまりを工夫し, どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。</p>	<p>○対照的な[A]と[B]による, [A]—[B]—[A]の構成をもつリズムアンサンブルをつくることを理解する。</p> <p>○[A]と[B]それぞれのイメージをグループで話し合っ決めて。</p> <p>○パートの組合せ方を工夫しながら[A]をつくる。</p> <p>○グループで話し合ったイメージに近づくように, [A]の音色, リズム, 強弱, 速度, パートの重ね方を工夫する。</p> <p>○音色, リズム, 強弱, 速度, パートの重ね方に着目して, [A]と対照的になるような[B]をつくり, ワークシートに記入する。</p> <p>◆創①【観察, ワークシート】</p>
<p>●音素材の特徴, 反復, 変化, 対照などの構成や全体のまとまりを生かした音楽表現をするために必要な課題に沿った音の組合せ方, 記譜の仕方などの技能を身に付けて音楽をつくる。</p>	<p>○[A]—[B]—[A]を通して演奏し, グループで話し合ったイメージに近づくように, [A]と[B]を比較しながら, 音色, リズム, 強弱, 速度, パートの重ね方を工夫する。</p> <p>○グループごとに発表し, 音楽を形づくっている要素を生かしたそれぞれのグループの工夫を聴き合う。</p> <p>○他のグループの発表から[A]と[B]を対照にするための工夫を聴き取り, それぞれのよさを伝え合う。</p> <p>◆技①【観察, ワークシート】</p>

▼組曲「展覧会の絵」から 3年 p.30
教材の評価規準と学習の流れの例

学習目標

曲のよさをプレゼンテーションしよう。

学習指導要領との関連

B鑑賞ア

主な学習の窓口〔共通事項〕

音色，リズム，速度，旋律，テクスチャ，強弱，形式・構成

評価規準

関 ①音色，リズム，速度，旋律，テクスチャ，強弱，構成と曲想とのかかわりに関心をもち，鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。

鑑 ①音色，リズム，速度，旋律，テクスチャ，強弱，構成を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して，解釈したり価値を考えたりし，根拠をもって批評するなどして，音楽のよさや美しさを味わって聴いている。

(関--音楽への関心・意欲・態度 鑑--鑑賞の能力)

学習の流れ（組曲「展覧会の絵」から）

●学習内容	○学習活動 ◆評価規準【評価方法】
<p>●音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成と曲想とのかかわりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組む。</p> <p>●音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して、解釈したり価値を考えたりし、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p>	<p>○教科書p.30の3曲を聴く。</p> <p>○気に入った曲を1つ選び、ワークシートに記入する。</p> <p>○音色、旋律、リズム、強弱、速度、ハーモニー、曲の構成に着目して再び曲を聴き、曲の特徴や感じ取ったこと、曲のよさをワークシートに記入する。</p> <p>○ワークシートに記入した内容を基に、音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解し、曲の特徴や感じ取ったことを聞き手が理解しやすいように文章などにまとめる。</p> <p>○まとめた文章を基にプレゼンする。</p> <p>○友達のプレゼンから分かったことをワークシートに記入する。</p> <p>○これまでの学習を振り返って再度曲を聴き、自分とは異なるとらえ方や感じ方があることを知って、楽曲についての理解を深める。</p> <p>◆関①【観察，ワークシート】</p> <p>◆鑑①【観察，ワークシート】</p>

▼「ブルタバ（モルダウ）」3年 p.32 教材の評価規準と学習の流れの例

学習目標

曲が生まれた背景を理解して，作曲者の思いを感じ取りながら聴こう。

学習指導要領との関連

B 鑑賞イ

主な学習の窓口〔共通事項〕

音色，速度，旋律，強弱

評価規準

- 関 ①音楽の特徴とその背景となる文化・歴史との関連に関心をもち，鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。
- 鑑 ①旋律，速度，強弱，楽器の音色を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて理解して，解釈したり価値を考えたりし，鑑賞している。

(関…音楽への関心・意欲・態度 鑑…鑑賞の能力)

学習の流れ（ブルタバ（モルダウ））

●学習内容	○学習活動 ◆評価規準【評価方法】
<p>●音楽の特徴とその背景となる文化・歴史との関連に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組む。</p> <p>●旋律、速度、強弱、楽器の音色を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて理解して、解釈したり価値を考えたりし、鑑賞する。</p>	<p>○ブルタバ川の流れて描かれていること、チェコの歴史、スメタナについて要点を整理してワークシートに記入する。</p> <p>○曲名、作曲者名、曲が生まれた背景について理解する。</p> <p>○標題ごとに聴き、それぞれの情景を特徴付ける楽器の音色や旋律、速度や強弱の変化など、気付いたことをワークシートに記入する。</p> <p>○「ブルタバ」が作曲された経緯、標題ごとの音楽の特徴など、これまで学習してきたことを振り返りながら、この曲の魅力や美しさを紹介する文章にまとめる。</p> <p>○互いの紹介文を基に意見交流する。</p> <p>○まとめの鑑賞をする。</p> <p>◆関①【観察、ワークシート】</p> <p>◆鑑①【ワークシート】</p>

▼ 「レクイエム／エチュード／アランフェス協奏曲／ノヴェンバー
ステップス」3年 p. 34, 35
教材の評価規準と学習の流れの例

学習目標

曲の背景を知って，名曲を味わおう。

学習指導要領との関連

B鑑賞ア，イ

主な学習の窓口〔共通事項〕

音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱

評価規準

関 ①音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱と曲想とのかかわりや，
音楽の特徴とその背景となる文化・歴史との関連に関心をもち，鑑賞する
学習に主体的に取り組もうとしている。

鑑 ①音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱を知覚し，それらの働き
が生み出す特質や雰囲気を感じながら，音楽を形づくっている要素や構
造と曲想とのかかわりを理解する，音楽の特徴をその背景となる文化・歴
史と関連付けて理解するなどして，解釈したり価値を考えたりし，根拠を
もって批評するなどして，音楽のよさや美しさを味わって聴いている。

(関…音楽への関心・意欲・態度 鑑…鑑賞の能力)

学習の流れ（レクイエム／エチュード／アランフェス協奏曲／ノヴェンバーステップス）

●学習内容	○学習活動 ◆評価規準【評価方法】
<p>●音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱と曲想とのかかわりや，音楽の特徴とその背景となる文化・歴史との関連に関心を持ち，鑑賞する学習に主体的に取り組む。</p>	<p>○それぞれの曲の背景を知って鑑賞する。</p> <p>○音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じてワークシートに記入する。</p> <p>○各曲の音楽的特徴を，その背景となる文化・歴史と関連付けて聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ラクリモサ」：旋律の美しさ，オーケストラと合唱の響きやテクスチュア ・「エチュード ハ短調」：リズム，速度，旋律，強弱の変化 ・「アランフェス協奏曲 第2楽章」：音色（ギター），旋律（上行形のアルペッジョ），オーケストラと独奏楽器の響きやテクスチュア（ギターの音色や奏法から，フラメンコ ギターの話題に触れてもよい。） ・「ノヴェンバー ステップス」：音色（尺八，琵琶），尺八・琵琶とオーケストラの響きやテクスチュア <p>◆関①【観察，ワークシート】</p>
<p>●音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解する，音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて理解するなどして，解釈したり価値を考えたりし，根拠をもって批評するなどして，音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p>	<p>○知覚・感受した音楽的特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて聴き，印象に残ったことをワークシートにまとめて発表する。</p> <p>○いちばん気に入った曲を選んで，その理由を文章にまとめてクラス全体で発表し，各曲への理解を深める。</p> <p>◆鑑①【観察，ワークシート】</p>

▼雅楽 平調「越天楽」—管絃— 3年 p.36
教材の評価規準と学習の流れの例

学習目標

日本の伝統芸能に親しみ、そのよさを味わおう。

学習指導要領との関連

B 鑑賞ア, イ, ウ

主な学習の窓口〔共通事項〕

音色, 旋律, テクスチャ

評価規準

- 関 ①雅楽の音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわり, 雅楽の特徴とその背景となる文化・歴史との関連, 音楽の多様性に関心を持ち, 鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。
- 鑑 ①雅楽の音楽を形づくっている楽器の音色, 旋律, テクスチャを知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。
- ②知覚・感受しながら, 音楽の特徴を理解して, 解釈したり価値を考えたりし, 根拠をもって批評するなどして, 音楽のよさや美しさを味わって聴いている。

(関…音楽への関心・意欲・態度 鑑…鑑賞の能力)

学習の流れ（雅楽 平調「越天楽」一管絃一）

●学習内容	○学習活動 ◆評価規準【評価方法】
<p>●雅楽の音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組む。</p>	<p>○雅楽 平調「越天楽」を聴き、気付いたことや感じ取ったことなどをワークシートに記入し、自由に話し合う。</p> <p>○管絃の特徴や雅楽「越天楽」について理解し、教科書p. 36, 37を見ながら、各楽器の音色の特徴や役割などに注目して聴き、ワークシートにまとめる。</p> <p>◆関:雅楽の音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【観察, ワークシート】</p>
<p>●雅楽の音楽を形づくっている楽器の音色, 旋律, テクスチャを知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取る。</p>	<p>○日本の伝統音楽における唱歌の役割について理解し, 箏の音色や旋律の特徴を感じ取り, 教科書p. 39の唱歌を歌う。</p> <p>○模範演奏に合わせて唱歌を歌いながら, 旋律の特徴やテクスチャについて理解し, 感じ取ったことをワークシートにまとめ, 発表する。</p> <p>◆鑑①【観察, ワークシート】</p>
<p>●雅楽の音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわり, 雅楽の特徴とその背景となる文化・歴史との関連, 音楽の多様性に関心をもち, 鑑賞する学習に主体的に取り組む。</p> <p>●知覚・感受しながら, 音楽の特徴を理解して, 解釈したり価値を考えたりし, 根拠をもって批評するなどして, 音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p>	<p>○雅楽の音楽の特徴や管絃の生まれた背景, 文化や歴史との関連, 日本の雅楽の特徴などを理解し, ワークシートにまとめる。</p> <p>○教科書p. 38の「舞楽」について理解する。映像で「舞楽」を鑑賞し, 気付いたことや感じ取ったことをワークシートに記入する。</p> <p>○これまで学習してきたことを振り返りながら, 日本の雅楽のよさや魅力について, 批評文にまとめる。</p> <p>○クラス全体で批評文を発表し合い, 日本の雅楽への理解を深める。</p> <p>◆関①【観察, ワークシート】</p> <p>◆鑑②【観察, ワークシート】</p>

▼能「羽衣」から 3年 p.40
教材の評価規準と学習の流れの例

学習目標

日本の伝統芸能に親しみ、そのよさを味わおう。

学習指導要領との関連

B鑑賞ア，イ，ウ

主な学習の窓口〔共通事項〕

音色，リズム，速度，旋律

評価規準

- 関 ①能の音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわり，能の特徴とその背景となる文化・歴史との関連，音楽の多様性に関心をもち，鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。
- 鑑 ①能の音楽を形づくっている音色，リズム，速度，旋律を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。
- ②知覚・感受しながら，音楽の特徴を理解して，解釈したり価値を考えたりし，根拠をもって批評するなどして，音楽のよさや美しさを味わって聴いている。

(関…音楽への関心・意欲・態度 鑑…鑑賞の能力)

学習の流れ（能「羽衣」から）

●学習内容	○学習活動 ◆評価規準【評価方法】
<p>●能の音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組む。</p> <p>●能の音楽を形づくっている音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を受受する。</p>	<p>○教科書p.40を見ながら、能の基本的な特徴を理解する。</p> <p>○教科書p.41を見ながら、能「羽衣」のあらすじを確認する。</p> <p>○「コトバ」と「フシ」の違いに注目しながら場面1と場面2を聴き、声の音色、リズム、速度、旋律の特徴について気付いたことや感じたことをワークシートに記入し、発表する。</p> <p>○能と謡との関係を理解し、能における謡の役割を感じ取る。</p> <p>◆関:能の音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【観察, ワークシート】</p> <p>◆鑑①【観察, ワークシート】</p>
<p>●能の音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわり、能の特徴とその背景となる文化・歴史との関連、音楽の多様性に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組む。</p> <p>●知覚・感受しながら、音楽の特徴を理解して、解釈したり価値を考えたりし、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p>	<p>○能の音楽の特徴や生まれた背景、文化や歴史との関連、能の特徴などを理解し、ワークシートにまとめる。</p> <p>○これまで学習してきたことを振り返りながら、総合芸術としての能のよさや魅力について、批評文にまとめる。</p> <p>○クラス全体で批評文を発表し合い、能への理解を深める。</p> <p>◆関①【観察, ワークシート】</p> <p>◆鑑②【観察, ワークシート】</p>

▼能「羽衣」から（歌唱）3年 p.42 教材の評価規準と学習の流れの例

学習目標

声や音楽の特徴を感じ取って謡おう。

学習指導要領との関連

A 表現（1）歌唱イ

主な学習の窓口〔共通事項〕

音色，リズム，旋律

評価規準

- 関 ①曲種に応じた発声や言葉の特性に関心をもち，それらを生かして歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
- 創 ①謡の声の音色，リズム，旋律を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，曲種に応じた発声や言葉の特性を理解して，それらを生かした音楽表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
- 技 ①曲種に応じた発声や言葉の特性を生かした音楽表現をするために必要な発声，言葉の発音，呼吸法，身体の使い方などの技能を身に付けて歌っている。

(関…音楽への関心・意欲・態度 創…音楽表現の創意工夫 技…音楽表現の技能)

学習の流れ（能「羽衣」から（歌唱））

●学習内容	○学習活動 ◆評価規準【評価方法】
<p>●曲種に応じた発声や言葉の特性に関心をもち、それらを生かして歌う学習に主体的に取り組む。</p>	<p>○教科書p.41を見ながら、能「羽衣」のあらすじを確認する。</p> <p>○「コトバ」と「フシ」の違いに注目しながら場面1と場面2を聴き、声の音色、リズム、旋律の特徴について気付いたことや感じたことをワークシートに記入し、発表する。</p> <p>○教科書p.42を見ながら、場面2の詞章を声に出して読む。</p> <p>○場面2の模範演奏（指導用CDや授業支援DVD）を聴き、声の音色や節回しの特徴を感じ取り、まねて謡う。</p> <p>◆関①【観察、ワークシート】</p>
<p>●謡の声の音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受する。</p> <p>●知覚・感受しながら、曲種に応じた発声や言葉の特性を理解して、それらを生かした音楽表現を工夫する。</p> <p>●どのように歌うかについて思いや意図をもつ。</p>	<p>○模範演奏に合わせて謡ったり聴いたりしながら、謡の声の音色、リズム、旋律について気付いたことや感じたことをワークシートに記入する。</p> <p>○旋律を少しずつ区切りながら、声の音色、リズム、旋律の高低などに気を付けて謡う。</p> <p>○教科書p.42の「この部分を謡うときに気をつけること」に注意しながら、模範演奏に合わせていろいろと試しながら謡う。</p> <p>○謡いながら曲にふさわしい音楽表現を工夫する。</p> <p>○どのように謡うかについての自分の考えや、そのように考えた理由をワークシートに記入する。</p> <p>◆創①【観察、ワークシート】</p>
<p>●曲種に応じた発声や言葉の特性を生かした音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法、身体の使い方などの技能を身に付けて歌う。</p>	<p>○曲にふさわしい音楽表現となるように、クラス全体やグループや個人で、発声、言葉の発音、呼吸法、身体の使い方などをいろいろと試す。</p> <p>○これまでの学習を生かして、グループあるいは1人で謡う。</p> <p>○ワークシートを見ながら学習内容を振り返る。</p> <p>○学習内容を意識してクラス全体で謡う。</p> <p>◆技①【演奏】</p>

※「うたう」の漢字表記について…「評価規準」と「学習内容」においては、国研の評価規準の設定例に倣って「歌う」を、「学習活動」においては、教科書に準じて「謡う」を用いています。

▼「世界の諸民族の音楽」3年 p. 44
教材の評価規準と学習の流れの例

学習目標

世界各地の音楽に触れ，そのよさを味わおう。

学習指導要領との関連

B 鑑賞イ，ウ

主な学習の窓口〔共通事項〕

音色，リズム，速度，旋律

評価規準

関 ①音楽の特徴とその背景となる文化・歴史との関連や，世界の諸民族の音楽の特徴と音楽の多様性に関心を持ち，鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。

鑑 ①楽器の音色，リズム，速度，旋律を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて理解する，世界の諸民族の音楽の特徴から音楽の多様性を理解するなどして，解釈したり価値を考えたりし，鑑賞している。

(関--音楽への関心・意欲・態度 鑑--鑑賞の能力)

学習の流れ（世界の諸民族の音楽）

●学習内容	○学習活動 ◆評価規準【評価方法】
<p>●音楽の特徴とその背景となる文化・歴史との関連や、世界の諸民族の音楽の特徴と音楽の多様性に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組む。</p> <p>●楽器の音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて理解する、世界の諸民族の音楽の特徴から音楽の多様性を理解するなどして、解釈したり価値を考えたりし、鑑賞する。</p>	<p>○諸民族の音楽を聴いて、その特徴や気付いたことをワークシートに記入する。</p> <p>[メヘテルハーネ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ズルナなどの管楽器の音色 ・数種類の打楽器のリズム <p>[バラフォンの合奏]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バラフォンの音色 ・拍子の異なるリズムの重なり <p>[ロマの音楽]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヴァイオリンやツィンバロムの音色 ・速度の変化 <p>[マリアチ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヴァイオリンやトランペット、ギターの音色 ・旋律の音の動き <p>[ガムラン]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴングなどの音色 ・音色や響き合い <p>○国や地域、演奏される場面などを理解して鑑賞する。</p> <p>○音楽が生活や文化などどのようにかかわっているかに目を向けながら、気に入ったところ、紹介したいところなどを批評文にまとめる。</p> <p>○批評文を発表し合い、音楽の多様性を理解する。</p> <p>○それ以外の国の音楽（特に合奏）をインターネットなどを活用して調べ、自分なりの価値を考える。</p> <p>◆関①【観察，ワークシート】</p> <p>◆鑑①【ワークシート】</p>

▼「ポピュラー音楽」3年 p.46
教材の評価規準と学習の流れの例

学習目標

ポピュラー音楽を聴いて，そのよさを味わおう。

学習指導要領との関連

B 鑑賞イ，ウ

主な学習の窓口〔共通事項〕

音色，リズム，旋律，テクスチャ

評価規準

関 ①音楽の特徴とその背景となる文化・歴史との関連や，ポピュラー音楽の特徴と音楽の多様性に関心をもち，鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。

鑑 ①リズム，音色，旋律，テクスチャを知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて理解する，ポピュラー音楽の特徴から音楽の多様性を理解するなどして，解釈したり価値を考えたりし，鑑賞している。

(関--音楽への関心・意欲・態度 鑑--鑑賞の能力)

学習の流れ (ポピュラー音楽)

●学習内容	○学習活動 ◆評価規準【評価方法】
<p>●音楽の特徴とその背景となる文化・歴史との関連や、ポピュラー音楽の特徴と音楽の多様性に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組む。</p>	<p>○ワークシートを配布し、それぞれの楽曲を聴いて感じたことを記入する。</p> <p>○感じたことを発表し合い、それぞれの音楽の特徴の理解を深めていく。</p> <p>◆関①【観察，ワークシート】</p>
<p>●リズム，音色，旋律，テクスチャを知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて理解する，ポピュラー音楽の特徴から音楽の多様性を理解するなどして，解釈したり価値を考えたりし，鑑賞する。</p>	<p>○グループに分かれて，それぞれのポピュラー音楽の成り立ち（発祥の地，ビート，楽器，言語・歌詞）を調べる。</p> <p>○調べたことを発表し，それぞれの楽曲の特徴とその背景とのかかわりについて考えたことをワークシートにまとめて発表する。</p> <p>○曲想の違いを味わって聴く。</p> <p>○それぞれのポピュラー音楽のジャンルの違いについても調べ，ワークシートにまとめて発表し合う。</p> <p>○様々なジャンルの音楽が，私たちが身近に聴いているJポップとどのような経路で融合し，影響を及ぼしているかについて考える。例えばリズムのビートや，楽器の音色などに注目して考え，Jポップがポピュラー音楽の影響を強く受けていることを理解する。</p> <p>◆鑑①【観察，ワークシート】</p>